



▲新設された八天堂きさらづ施設前

### 社会福祉協議会 研修 クリームパンの「八天堂きさらづ」へ

11月7日(木) 登戸地区社会福祉協議会は障がい者の就労のモデルになっている千葉不更津市で視察研修を行いました。

そこはクリームパンを製造販売している株式会社八天堂と、社会福祉法人かづさ萬燈会とが協働し、知的障がいのある方々が「経済的自立」した生活が送れるよう、工場を新設して就労の場を提供している事業所です。全国的に障がい者の雇用達成率は低く、企業の理解不足とも云われています。

#### 総務企画部会



12月10日、「五反田川放水路」の完成が間近となり、出口部分(登戸)の見学をしました。五反田川と二ヶ領用水は合流部で度重なる洪水を起こしてきました。今後、大雨が降った場合、五反田川の水を巨大な地下トンネルを通し、生田から登戸を経て多摩川に放出します。

#### 老人福祉部会



ふれあい会食会は、ひとり暮らしや昼間独居の方を対象に、年6回「登戸老人いこいの家」で行われています。部会研修として10月11日、王禅寺エコ暮らし環境館と処理センター資源化処理施設を見学しました。

#### 青少年福祉部会



青少年と、地域の方々との良好な環境を作ることを目的に、活動しています。11月10日、登戸小学校にて紙飛行機大会を開催しました。子どもたちはスタッフから折り方を教わり、学年ごとに輪通しや滞空時間の競技を行いました。

#### 障害福祉部会



地域の障害のある方々と共に活動し、障害者への支援の輪が広がることを目的に活動しています。「お楽しみ交流会」や「クリスマス会」を開催し、登戸小フェスタでは4年生を対象に「車いす体験」を実施しました。

#### 福祉の輪

ひろげて明るい 街づくり!

賛助会費のご協力をお願い申し上げます  
登戸(登戸・登戸新町)地区社協の主な仕事

- 登戸福祉まつり
- 社会を明るくする運動への協力
- 共同募金・年末たすけあい運動の推進
- 登戸老人いこいの家の運営・協力
- 母親クラブへの後援
- 社協研修会の実施
- ふれあい型老人会食会の実施
- にっこり会
- 広報紙「のぼりと」の発行
- こども会活動への協力
- 障害者団体との交流会・クリスマス会
- 子育てサロン「ひよっこ」への協力

等々 町会、自治会、民生委員児童委員協議会、保護司会からの会費、そして地域の皆さまからの賛助会費によって支えられています。



▶ 2月2日、登戸稲荷社の節分祭で保護司の小林秀夫さんと社会福祉協議会は「社会を明るくする運動」の啓発活動を行いました。

たくさんのご協力  
ありがとうございます!!

令和元年度 賛助会費報告 1,178,000円  
(内 788,669円を登戸地区社協に交付)

共同募金・年末たすけあい募金

ご協力ありがとうございます

登戸地区  
令和元年度募金総額  
2,003,040円



社協は  
社会福祉協議会の  
略称

# のぼりと

3.31  
2020 No.29

発行 登戸地区社会福祉協議会  
川崎市多摩区登戸1763  
ライフガーデン向ヶ丘2階  
TEL 935-5500  
発行人 吉田紀代子  
編集人 総務企画部会

健康と幸せが守られる明るい福祉の街づくり

## 台風19号 その時あなたはどうしましたか?

私たちの住む登戸・登戸新町も初めての避難勧告発令でした

昨年10月12日~13日の台風では強烈な衝撃を受けました。刻々と多摩川の水位上昇による危機管理情報が入ってきました。いつ多摩川が決壊するか不安と心配。そして初めての【警戒レベル4】。

川崎市の避難者、過去最多3万3,150人だった!

▶ 登戸小学校の様子



台風19号で登戸小学校、約900人。宿河原小学校、約780人が避難。

多摩区の最大避難者数は約8,000人にもなりました。(多摩区役所危機管理担当調べ) その他、多摩市民館(本来は帰宅困難者向け避難所を臨時避難所として開放)にも約980人、近隣の中野島小学校1,550人、避難所に指定されていない中野島中学校にも約270人が避難しています。中には避難所がいっぱいで入れず...、自宅に戻った人なども...

避難所に行かずに、布団を2階に上げたり、食料を用意したり避難準備をして自宅待機した人も大勢いました。高齢者は避難所に行った人は比較的少なかったようです。災害時要援護登録者に民生委員が電話をしたら、「俺は高齢者で動くのも大変、いつ死んでもいいから避難しない」と避難を断った人もいます。あの大雨の中での避難は容易ではなかったようです。



▶ 今にも氾濫しそうな三沢川

その後の聞き取りによると、3階以上の親戚や友人宅などに避難した方や、避難行動に不可欠なサイレンが聞こえなかった方が多数いました。

“まさかに備えて” 事前防災に力を注ぐことが求められています

私たち登戸地区社会福祉協議会も関係する民生委員児童委員協議会や町会なども具体的な対応ができませんでした。イザというときの体制面では多くの課題が残されています。

台風19号を経験した私たちが率先して、かつて経験したことのない“未曾有の大災害”から命と暮らしを守るために、身の回りの対策と事前防災に力を注ぐことが求められていると思います。

自分と大切な人の命を守るために、みんなで意識を高め、豪雨に備えることが大切です。

#### ◆ 住みよい街づくりを目指して ◆



登戸地区社協会長  
吉田紀代子

令和の時代を迎え、本年もよろしく申し上げます。登戸地区におきましては、区画整理により街並みが日ごとに変化しております。登戸地区社協では、登戸に住んでよかったと思われる街づくりを地域の皆様方とともに、行政・社会福祉協議会・町会・関係機関等と連携し推進してまいります。昨今の多発している災害時の対応については、地域の方々の協力なくしてはできません。今年も安心・安全の街づくりを目指し、地域福祉の向上に努力してまいります。